

(別添3)

【長瀬町】
校務DX計画

本計画は、GIGAスクール構想のもと、校務のデジタル化（DX）を推進し、業務の効率化とペーパーレス化を実現することを目的とする。特に、FAXや押印の見直し、手入力作業の削減を重点課題としつつ、現行のシステム環境を踏まえた上で、段階的な改善を進める。

現在、令和8年12月31日まで学校サーバー運用による契約を締結しており、クラウドツールの活用が限定的となっているため、現在の校務システムの課題を整理し、契約更新時には、学校サーバー運用の継続、センターサーバー運用への移行またはクラウド運用への切り替えを検討し、費用対効果や運用負担の観点から最適な選択を行う必要がある。また、文部科学省の「次世代の校務デジタル化推進実証事業」の動向にも注視しながら、業務の効率化を進める。

業務におけるFAXや押印の必要性を精査し、可能な限り電子化を推進する。文書管理の効率化を図り、関係機関との調整を進めながら、業務フローの見直しを行っていく。手入力作業の削減については、デジタル採点システムを活用することで、採点業務における手入力作業の負担を軽減する。また、校務システム間でのデータ連携を強化し、二重入力や転記作業の削減を進める。

この計画に基づき、校務のデジタル化を進めつつ、次世代校務システムへの円滑な移行を目指す。特に、教職員の負担を最小限に抑えながら、費用対効果の高い施策を検討し、段階的に実行していく。